

第29回教育改革シンポジウム

公立総合大学としての役割と教育のあり方について

—新大学大阪公立大学(仮称)で、どのような人間を、どのように育てるか—

大阪市立大学で1995年から毎年1~2回ずつ開催してきた教育改革シンポジウムは、今回で29回目となりました。今回のシンポジウムは新大学の開学を前に「公立総合大学としての役割と教育のあり方について—新大学大阪公立大学(仮称)で、どのような人間を、どのように育てるか—」を全体テーマに設定し、大阪府立大学高等教育開発センターとの共催で開催いたします。なお、本シンポジウムは大阪市立大学の全学FD・SD事業としても位置付けて行います。

2022年4月、それぞれ歴史のある大阪市立大学と大阪府立大学を母体として、新しい公立総合大学が誕生します。新大学の開学が学生のより豊かな学びにつながるよう、両大学の教職員によって、公立総合大学としての役割と教育のあり方をあらためて考え、新大学における学修・教育について議論することは意義のあることかと思えます。

シンポジウムの講師には、日本教育史がご専門の、名古屋大学の吉川卓治先生をお招きすることとしました。吉川先生は、日本の近現代社会において小学校から大学までのさまざまな学校が地域とどのようなかかわりを持ちながら設立・運営されてきたのか等を研究され、公立大学に関するご著書『公立大学の誕生—近代日本の大学と地域—』(名古屋大学出版会、2010年)では、公立大学の理念の形成過程や各地の公立大学の設立経緯など、歴史的観点から公立大学のあり方を考察されています。当日は、吉川先生に公立大学の歴史や現状についてご講演いただきながら、大阪公立大学(仮称)学長予定者の辰巳砂昌弘先生に新大学でどのような人間を、どのように育てるか等の観点からコメンテーターをお願いしつつ、参加者の皆さまと公立総合大学の役割と教育のあり方について、議論を深めてみたいと思っております。なお、当日は、本シンポジウムに引き続き関連するテーマでFD研究会も実施予定となっており、吉川先生、辰巳砂先生には引き続きご参加いただく予定です。ご多忙中かと存じますが、是非よろしくご参集いただければと存じます。

講演

「歴史的観点から公立大学の役割と教育のあり方を考える」

吉川 卓治 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教授

コメント

「新大学 大阪公立大学(仮称)で、どのような人間を、どのように育てるか」

辰巳砂 昌弘 大阪府立大学 学長 (大阪公立大学(仮称) 学長就任予定)

■日時 2021年

8月31日(火) 13:30 ~ 15:05

[本学学長あいさつ・趣旨説明・講演・コメント・質疑応答]

*終了後15:15 から第19回FD研究会を開催いたします。

■場所: Zoomによるオンライン開催

■定員: 300名

対象: 大阪市立大学・大阪府立大学 教職員

■申込方法: 参加申し込みフォーム(市大・府大 教職員共通) <https://forms.office.com/r/4NQYQn6L3Q> または、QRコードより

お申し込みください。フォームは第19回FD研究会と共通です。両方またはどちらか片方に参加する旨、ご回答ください。

市大教職員は、WebClass 土曜5限「全学FD・SD事業および教育支援」からもお申し込みいただけます。

お申し込み後にミーティングアドレス等をお知らせいたします。

■申込期限: 8月24日(火)



司会: 橋本智也<全体進行>・飯吉弘子<質疑応答進行> ワライノ運営: 平知宏

主催 大阪市立大学 大学教育研究センター
教育開発支援室(OCUラーニングセンター)
お問い合わせ: event@rdhe.osaka-cu.ac.jp

共催 大阪府立大学 高等教育開発センター
大阪市立大学 全学共通教育教務委員会
全学FD委員会・全学SD委員会